



JAびえい・広報誌

丘の大地

No.1142
3月号

2019
March



～おいしい美瑛米を都度精米で～

— 2/28 精米所の作業から —

■一般記事	2
■焦点 (FOCUS)	3
■タスマニア研修報告	4
■てん菜づくり講習会	6
■情報カン	10

麦作生産部会で総会

美瑛町の景観作物としてや、作型でも面積的に大きな比率を確保する麦作生産部会(山本賢一 部長)の定期総会が46回目を数えて行われました。30年度の生産の経過では、7月中旬の大雨、日照不足は登熟後半の子実の充実に決定的な打撃を与え、穂数の減少や1穂粒数の低下から減収を余儀なくされました。小麦の取扱い作付面積は、秋まき小麦2,400畝、春まき小麦775畝で本町農地面積の25%を占めています。収量は「きたほなみ」6.8俵/60^{kg}、ゆめちから7.4俵/60^{kg}、春よ恋4.1俵/60^{kg}と振るわず残念な結果となりましたが、

製品仕上げについては1等Aランクをめざしたところです。新年度事業計画では主力品目となりつつある「ゆめちから」は道内で生産される品目としては、市場性も高く熱心な実需者要望もあることからトレーサビリティを前提に、GAPに基づいた産地づくりを確認しました。また7月には全国規模の小麦普及活動事業が本町で開催され、美瑛産小麦の魅力を発信する絶好の機会となつてい

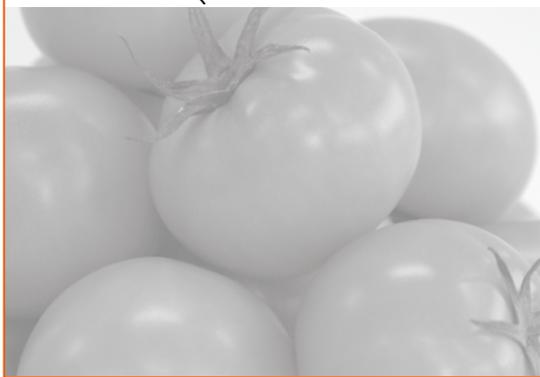
新部会長に 堀内 豊幸さん(藤野東和)

ら、地産地消の推進とあわせ有利販売をめざすこととします。なお、新年度の事業方針、新役員の皆さんは別記の通りです。

トマト生産部会で総会

販売額好調に推移

当JA生産部会のトップを切って平成30年度の定期総会が1月22日に行われました。生産の経過では促成・半促成型については着花、肥大は順調で例年比早い共選開始となりました。30年販売実績では面積は45.1畝、生産量は4,634トンで前年比89.7%の低水準となったものの、販売額では16億3千万円余で前年比102.8%の実績を確保しました。当JAの主幹作物の一つとして期待されるこの品目は単位当たりの収益性も高く、平均単価では352円、収量は10.3トン、10畝当たりの収入は3,621千円となりました。部会活動ではイエスクリーン栽培の継続、新規部会員の巡回指導等を行うこととされています。



平成30年度 美瑛町農協麦作生産部会共励会受賞者

新役員のみなさん

○ 個人の部

区分	秋まき小麦(ゆめちから)		反収(俵)	1等率	ランク	
	賞	氏名			29年	30年
最優秀賞	東部第二	田辺 和宏	8.8	100.00%	A	A
優秀賞	瑠辺第一	小木田匡之	9.6	89.35%	C	C
優良賞	北瑛第一	大西 智貴	8.4	76.50%	A	B

区分	秋まき小麦(きたほなみ)		反収(俵)	1等率	ランク	
	賞	氏名			29年	30年
最優秀賞	美沢	(有)村アグリ	10.1	100.00%	A	C
優秀賞	新星第二	大場 幸郎	8.8	100.00%	B	A
優良賞	北瑛第二	村形勇樹雄	8.5	100.00%	B	A

区分	春まき小麦(春よ恋)		反収(俵)	1等率	ランク	
	賞	氏名			29年	30年
最優秀賞	北瑛第二	村形勇樹雄	6.9	100.00%	A	A
優秀賞	水沢	酒本 新一	6.6	100.00%	B	A
優良賞	水沢	栢木 浩二	6.0	100.00%	A	A

○ 集団の部

区分	秋まき小麦(ゆめちから)		反収(俵)	1等率	ランク	
	賞	集団名			29年	30年
最優秀賞	西	瑠辺第一	8.4	81.74%	C	C
優秀賞	西	美馬牛	8.2	87.82%	C	C
優良賞	南	水沢	8.3	65.38%	B	C
特別賞	東	東部第二	7.6	60.41%	B	B
町平均			7.7	65.75%	C	C

区分	秋まき小麦(きたほなみ)		反収(俵)	1等率	ランク	
	賞	集団名			29年	30年
最優秀賞	南	新星第二	8.0	99.06%	A	A
優秀賞	北	北瑛第二	7.6	96.15%	B	B
優良賞	南	水沢	7.6	97.10%	B	C
特別賞	北	美田	7.0	90.28%	B	C
町平均			6.7	91.65%	B	C

区分	春まき小麦(春よ恋)		反収(俵)	1等率	ランク	
	賞	集団名			29年	30年
最優秀賞	南	水沢	5.7	83.43%	A	B
優秀賞	西	美馬牛	4.8	88.81%	A	A
優良賞	北	北瑛第一	5.3	86.40%	A	B
特別賞	北	夕張	4.2	86.26%	A	A
町平均			4.5	74.36%	A	B

(敬称略)

役職	氏名	集団名
部会長	堀内 豊幸	東部第2集団
副部会長	小泉 哲也	美沢集団
監事	長谷川 宏	五陵集団
監事	菅原 弘行	二股集団

◆ 事業方針 ◆

- ・ 乾・湿害を克服する土づくりと輪作体系の確立
- ・ 新たな施策による作付指標に基づいた作付計画
- ・ 実需者の要望に応えられる良品小麦の安定生産
- ・ 新品種、作型による増収とコスト低減に向けた生産技術情報の提供
- ・ 共同施設の効率活用とコンタミ回避に向けた取組
- ・ トレーサビリティに対応した「安全・安心」の麦づくり
- ・ GAP(生産工程管理)に基づいた基本技術の管理と産地づくり
- ・ 販売体制の強化に向けた交流事業の実施

焦点 FOCUS

29事業年度の道内JAの実力 組合員数は再び増加

JA道中央会はこのほど、会員JAや連合会からの報告を基に、道内JAグループの組織や事業、財務および収支の概要などを集計した「2018JA要覧」（平成29事業年度）をまとめた。それによると、正組合員数は前年に比べ1.4%減少しており、減少率は前年に比べ0.2ポイント縮小したほか、前年減少に転じた准組合員数は同0.9%増となり再び増加し、これによって、総組合員数は前年度を0.5%上回る35万6,063人となった。

29年度の調査対象数は前年と同じく108JA。このうち、正組合員数は前年度に比べ1.4%（904人）少ない6万4,400人で、全地区で前年度を下回った。減少率が最も大きいのは留萌（前年比3.1%減）で、これに対し宗谷（同0.3%減）、後志（同0.5%減）、根室（同0.9%減）などは1%未満の減少率となっている。これに対し、准組合員は同0.9%（2,696人）増の29万1,663人で、平成13年以来15年ぶりの減少となった前年（同0.7%減）から一転、再び増加した。ただし、地区別で見ると前年と同様に空知（同1.2%減）、上川（同0.4%減）、宗谷（同0.7%減）の3地区が前年より減少しており、残る9地区は増加。伸び率が大きいのは石狩（同4.0%増）、オホーツク（同2.3%増）などとなっている。この結果、総組合員数は同0.5%（1,792人）増の35万6,063人となり、前年は18年以来10年ぶりに減少したが、再び増加。組合員数に占める准組合員の割合は81.9%となり、前年より0.3ポイント上昇した。正組合員戸数は4万6,352戸で前年に比べ2.0%（926戸）減少。減少率が最も大きかったのは空知で前年比2.7%減となった。各事業状況を見ると、信用事業のうち貯金残高は3兆4,896億1,600万円の前年に比べ3.3%（1,130億1,200万円）増加。地区別では、根室が前年比5.3%、石狩と十勝が同4.5%増と高い伸びを示し、全地区で前年を上回った。一方、貸出金は前年比3.6%減少し、貯貸率は前年から1.6ポイント減少し22.1%となった。

JA 人事異動

～ 販売の強化に組織改編 ～

協同事業の中心的な役割を担うJA職員の人事異動が行われ、3月1日発令がなされました。今回の発令は部長職4名、課長職10名、係長職11名、主任職10名、一般職14名です。組織の改編に伴う人事の異動から比較的規模の大きい人事となりました。振興計画の柱の一つとしての販売力の強化を念頭に庭先訪問を強化する集荷体制、流通改革では都市部に移送の農産物搬送は、コンテナ口の他に多品目の荷物も抱合せて流通・搬送させコストカットを図る体制とし、流通の改革に努めることと致します。

人事異動〔 〕内は異動前の部署（3月1日付）

（管理職／部長職）

総務部部长【営農部部长】	山田 直樹
営農部部长【販売部生産振興課課長】	平間 尚貴
販売部部长【購買部部长】	高橋 章
購買部部长【総務部部长】	鈴木 勝也

（管理職／課長職）

監査室課長【購買部農業機械課課長】	谷口 朋子
営農部営農支援課課長【購買部生産資材課係長】	佐藤 秀治
販売部農産課課長【販売部販売促進課課長兼務JAびえい販売畑営業課長】	井上 匡史
販売部青果課課長【営農部営農支援課課長】	江花 光春
販売部経理企画課課長【販売部経理課課長】	神子素賢一
販売部経理企画課課長兼務JAびえい販売畑営業部長	
【販売部販売促進課課長兼務JAびえい販売畑営業部長】	鈴木 紀寿
販売部施設物流課課長【共済部推進課課長】	小崎 裕司
販売部施設物流課穀類施設工場長【販売部施設穀類施設工場長】	小山亜紀夫
販売部付課長JAびえい販売畑 出向（営業課長）	
【販売部付係長JAびえい販売畑出向（営業係長）】	澤田 謙
購買部農業機械課課長【販売部施設課課長】	高橋 正明

（一般職／係長職）

総務部管理課係長【監査室主任】	能登谷和紀
金融部経済対策課係長【金融部経済対策課主任】	友田 博明
共済部共済課係長【購買部農業機械課係長】	寺崎 智春
販売部農産課係長【販売部生産振興課係長】	松下 広樹
販売部青果課係長【販売部生産振興課係長】	内田 達也
販売部経理企画課係長【総務部付係長美瑛アグリサポート畑出向】	武田 光好
販売部経理企画課係長【販売部販売促進課係長】	六鹿 舞子
販売部施設物流課係長【畜産部畜産課係長】	佐原健一郎
総務部付係長美瑛通運畑出向【総務部付主任美瑛通運畑出向】	安部 千唱
販売部付係長JAびえい販売畑出向【販売部付主任JAびえい販売畑出向】	山田健太郎
販売部付係長JAびえい販売畑出向【販売部販売促進課係長】	天野 瑛

（一般職／主任職）

総務部審査・庶務課主任【営農部営農支援課主任】	大谷 麻衣
総務部審査・庶務課主任【総務部審査・庶務課係】	菅 章貴
共済部共済課主任【共済部推進課主任】	鳥取大二朗
共済部共済課主任【共済部推進課主任】	山本 悠
販売部農産課主任【販売部生産振興課主任】	長谷 郁人
販売部青果課主任【販売部生産振興課主任】	中家 良太
販売部青果課主任【販売部生産振興課主任】	川崎 雄作
販売部青果課主任【営農部営農支援課主任】	工藤 優佳
販売部経理企画課主任【販売部経理課主任】	友田 彩
販売部施設物流課主任【販売部施設課主任】	中村 英司

（一般職）

金融部融資課係【金融部貯金課係】	渡邊星怜奈
金融部貯金課係【金融部融資課係】	太田香緒里
共済部共済課係【共済部推進課係】	高橋はるか
共済部共済課係【販売部施設課係】	青田 奈々
共済部共済課係【販売部付係JAびえい販売畑出向】	西館 優菜
営農部営農企画課係【営農部営農支援課係】	小崎 雅也
営農部営農企画課係【営農部営農支援課係】	大崎 磨鼓
畜産部畜産課係【共済部推進課係】	安原 朋希
畜産部畜産課係【営農部営農支援課係】	大谷 真月
販売部経理企画課係【販売部生産振興課係】	山口 菜里奈
販売部経理企画課係【販売部経理課係】	近藤 舞
販売部施設物流課係【販売部施設課係】	新村 進
販売部施設物流課係【販売部経理課係】	江口 なな
購買部農業機械課係【畜産部畜産課係】	児玉 翔吾

豪州タスマニア 真逆の地で学ぶ JAびえい担い手研修



■研修7日目 11月27日(火)

キャベツ、カリフラワールの圃場見学。キャベツ定植中の畑があったが、定植機が故障してしまい、稼働しているところは見られなかった。キャベツ、カリフラワールの収穫も視察では、2種類とも収穫数で価格が決まり、木コンテナに数を数えながら入れていくため5〜6人の作業者が会話もそこそこで、黙々と収穫している姿が印象に残った。

・フリーファーム

圃場の残り半分におーストラリア方式でカボチャの播種を行った。畦間150cm、株間150cmで行った。前日の定植の際に種を水にさらしていなかった等の会話をしていたところ、ダンカン氏が本日の分を水につけておいて用意してくれていた。すべて植え終えても2畝程残ったので、ダンカン氏が用意してあったカボチャやズッキーニの種を植えて、作

業は完了した。

■研修8日目 11月28日(水)

ブロックリー

圃場と出荷施設を見学。8月に定植した分の収穫初期であり、2〜3日後からフルラインで動き出すという、選別、箱詰め工程を見学した。カリフラワー等と違い、収穫重量に對しての価格設定となっているため、大きいものを作って収益を上げようとすると茎も太くなり収穫しにくくなるので、数量制がいいとも言っている声も聞けた。

ハーベストムーンはタスマニアにおけるオランダの種芋会社の代理店としての立場もあるが、芋の生産、販売の拡大には現状あまり積極的ではないというスタンスであった。ジャガイモシストセンチュウがタスマニアに生息していないため、オーストラリア本土からの馬鈴薯の受け入れは禁止されている。

■研修9日目 11月29日(木)

この日の午前は、ブロック氏の運転するバスに乗り込み、TAAの組織が運営している酪農試験場へ向かった。ここでは、イリゲーシオン(灌水)の講義を受けた。タスマニアでは、夏場の降水量が少ないためイリゲーシオンが不可欠となっている。しかし、イリゲーシオンを行うにはかなりの費用(水代)がかかっているため、雨水をいかに溜めるかが重要になってくると教わった。そして、タスマニアでは、各地の土壌水分保持量をインターネットで確認することができ、そのデータを基に効率的なイリゲーシオンを行っている。

午後は、タスマニアに戻り、生徒の授業に参加させてもらうことになった。

テーマは、水の循環についてであった。話していることは、英語だったがためわからない部分も多々あったが、黒板に書かれた図を見ていると若干だが理解することができた。海外で初めて学生と授業を受けたが、先生と生徒の距離が近く、親しい関係であった。日本の授業風景と異なる部分が多くとても新鮮味を感じる事が出来た一日だった。

■研修10日目 11月30日(金)

・ベリーパーチ

午後は昼食と視察を兼ねてベリーパーチへ行った。シャーニー先生とブロック先生と合流し、昼食後

オーナーの案内で視察をした。ベリーパーチでは14haの面積でイチゴ、ラズベリー等を栽培している。イチゴは毎年15,000株植えているが、ミバエが発生したため今年は検査の関係で2,000株となっている。栽培方法は高設栽培を行っており、専用の床土を使用している。土と比べると温まるのに12時間かかり生育は3週間遅れるが、この時間差を利用して計画的に栽培を行っている。タスマニアはベリー大産国になりつつあるが、価値は下がってきている。そのためベリー栽培だけではなく、観光レストランにも力を入れている。今後はトウモロコシ栽培にも挑戦する予定であるとオーナーは言っていた。

・ジェイアントブランドセマ

次にジェイアントブランドセマへ行き、生食用トマトの施設栽培と選果施設の視察をした。1.1haの面積で栽培を行っており、年間64,000kgトマトを出荷している。栽培方法は床土を使った栽培で、床土は2年苗は約1年使用する。日本と大きく違うのは苗を伸ばし続けグリーンカーテンのようになっていく。温度管理はすべて自動で、一日の日光量から気温を算出し加温している。昼間は霧状の水と窓の開閉で、夜間は日中に温めた水をパイプに通し使っている。LPガス、木片を燃やすバイオマス、昼間は二酸化炭素を使って水を温めている。収穫されたトマ

トは機械で選別し箱詰めされたあとミバ工対策で燻蒸消毒する。その後スーパーなどに出荷される。現在、唐辛子とパプリカの試験栽培を行っている。

新規作物も視野に入れた試験栽培を行っていた今回の視察を通して、現状に満足せず、意欲的に取り組んでいる姿勢を見習うべきだと思った。

■研修11日目 12月3日(月)

ハーベストムーンを視察の予定であったが、雨模様のためタステフでの授業に変更となった。当日の変更であったため、前回受けた授業の続きをニック氏に頼む手筈だったが、安井氏より講義を聞いていた授業について、美瑛での自分たちの作物についてどうなっているのかをプレゼンを作って、発表してみようかと提案したところ、ニック氏の了承が得られた。カボチャ、馬鈴薯、トマトについて美瑛での栽培病害虫、農薬に関する簡単なスライドを作成し、安井氏に英訳して頂き発表する次第となった。だが、発表資料や内容は全て安井氏に頼りつきりだったので、英会話をできるせいかくのチャンスを生かすことができなかつた。

尾形氏は、スマートフォンに昨年の作業風景を撮影したものが残っていたので、カボチャの説明をメインに行った。反省としてプレゼン自体は簡素なものだったのでもっと事前

に準備をして詳しく情報を伝えることができたと思う。

ニック氏いわく「タスマニアのやり方、状況を教えていくだけでなく、今回のように美瑛からの情報も提示して双方で議論できるような機会もぜひ取り入れてほしい。」との意見だった。

今回は出発前に月1回、簡単な英会話を勉強しながら研修に向けて準備等をしていたが、そのような時間を使って自分の栽培品目や圃場の様子、管理作業や収穫の様子をデータとして作成しておく機会を設けてもよいのではないか、と思った。

■研修12日目 12月4日(火)

・ハーベストムーン

ハーベストムーンへ行きニンジンの視察を行った。担当者のネイサン氏と一緒に圃場をまわった。面積はニンジンが240ha(契約農家も含む)、ペビーキャロットが10ha栽培されている。出荷量はニンジンが14,000t、ペビーキャロットは350tになる見込みである。ペビーキャロットはコストコにも輸出している。2級品はサラダ用に加工される。製品率は60%以上になるように目指している。今年の傾向としては低温と雨量が少ないため生育が遅く、病気による奇形が多い状況であった。

次にバーニー周辺の圃場を視察した後、片道2時間かけてスタンレイへ移動。途中昼食を取り、圃場へ到

着。こちらでも低温と雨量が少ないため生育が遅れていた。また、カットワームが発生している圃場が多かった。カットワームは前作が牧草地だった、もしくは牧草地が隣接している圃場があるところから発生し、土の中で作物の根を切っていく害虫である。そのため、所々生え切れしている部分が多く見られた。

ハーベストムーンへ戻る途中ネイサン氏の家族の畑へ行きグリーンピースの収穫作業を見ることができた。野菜の加工会社ピオットのハーベスター2台で収穫をしていた。生で食べてみると甘みがとても強く、青臭みがなくとてもおいしかった。

ハーベストムーンへ戻り、ペビーキャロットの選果施設を視察した。大量の水を使いながら洗浄と選別を行い1kg、2kgに箱詰めされたあとシドニーに出荷される。

車の中にいる時間が多かったが、帰りは海沿いの高台できれいな景色を見ることができたので、楽しかった。

■研修13日目 12月5日(水)

ハーベストムーンで終日視察を行った。玉ねぎを143ha作付しており一般的な玉ねぎと赤玉の2種類である。日本では、大玉の甘みがある玉ねぎが主流であるが、オーストラリアでは小、中玉の辛味のある物が人気である。

主な出荷先には、タスマニアのスーパーマーケットとアジアへの輸

出が中心となっている。日本のコストコも輸出先の1つである。

ハーベストムーンでは、ニュージーランドにある種苗会社の25%の株を保有しているため、タスマニアに適した玉ねぎの品種改良も行っていると教わった。

選別ライン・貯蔵施設・自走式収穫機を見学させてもらった。まだ、収穫前であったため、選別ラインは稼働していなかったが、規模、機械の大きさに驚かされた。

低温施設は、現在出荷までの一時保管に使われているが、将来的にはタスマニアのスーパーマーケットと年間契約を結び収穫時期だけではなく、1年を通じた出荷を行いたい、更なる売り上げ向上を目指したいと話していた。



美瑛で「高品質てん菜づくり講習会」

道てん菜協会が主催する「高品質てん菜づくり講習会」が2月1日、美瑛町町民センターで開催され、上川地区の生産者や糖業関係者など約200人が出席。

糖価調整制度の変更点や消費拡大対策など説明

農水省政策統括官付地域作物課の中谷課長補佐がてん菜をめぐる事情」と題し、てん菜を取り巻く情勢や2年目となる「畑作構造転換事業」(平成30年度補正予算)の変更点などを説明したほか、JA道中央会が糖価調整法改正

64万ト問題、毎年3億円の基金を原資に

開会に当たり、道南地区てん菜振興協議会の松尾会長は、昨年9月の台風21号および胆振東部地震による農業被害に触れ、一方でこれまで取り組んで頂いた生産者の成果を聞いて、若い人や周りの人の中から、一人でも多く自分もビートをつくりたいという人が出てくれることを期待したい」と述べ、加糖調製品からの調整金の一部を活用して毎年3億円の基金造成の仕組みができ、64万ト問題に一定の前進が図られたことに対し、「面積や産糖量がオーバーしたときに、今後はこれを原資にして北海道としてしっかり取り組んでほしいということ、農水省には今回、有難い制度を認めていただいた。今までの面積調整などにこだわら

に伴う制度変更のポイントなどを解説。

てん菜にとつて最大の懸案だった「64万ト問題」の前進と併せて、引き続き原料糖の流通問題の改善や砂糖の消費拡大に取り組んでいく姿勢が示されました。

この講習会は洞爺湖町を皮切りに、2月1日美瑛町、5日清水町、6日北見市の全道4カ所で開催されました。

す、てん菜を輪作体系の一環として経営の柱にしていたきたい」と述べ、適正輪作を踏まえたてん菜の積極的な作付け推進を呼び掛けました。

生産者に理解求める調整金の累積差損

てん菜を取り巻く情勢について報告した中谷課長補佐は、昨年12月30日のTPP11発効に合わせて施行された改正糖価調整法に基づき、コア調製品や加糖あんなどの加糖調製品が新たに調整金の対象となったが、これを砂糖の国内支援に充当することによって砂糖の価格が引き下げられ、ひいては競争力強化につながると説明。一方、調整金収支は赤字が続いており、累積差損は29砂糖年度末で216億円が見込まれている。今後調整金の収入源である輸入粗糖などの輸入量が減少し、国内生産が

拡大すると「調整金収支が赤字になりやすい状況になる。(収入と支出の)バランスが重要」と指摘。赤字解消に向けた努力の継続について生産現場にも理解を求めました。

これに対し道中央会は、農水省、精糖工業会、糖業を含めた昨年3月の4者合意により、てん菜関係者にとつて「長年の悲願」であった64万ト問題が大きく前進したことについて、それまでの経過を含めて報告した上で「前進はしたが、残された課題もある」と述べ、64万トを超えた場合の品代に関するルールづくりや原料糖の引き取り問題について、引き続き糖業と協力しながら、農水省に行司役を務めてもらいつつ、解決に向け取り組んでいく考えを示しました。

砂糖消費拡大に生産者抛出検討も

同時に、こうした課題の根本には砂糖の消費量減少があるとし、砂糖に替わって消費を伸ばしている加糖調製品や異性化糖、高甘味度人工甘味料に対する何らかの働き掛けと併せ、関係者と連携して消費拡大運動を強化していく必要性を強調。精糖工業会が取り組む「シュガーチャージ」や農水省が始めた「ありが糖運動」とともに、JAグループ北海道としても砂糖類や飲料、菓子などの商品取りまとめ購買に取り組んできたこ



とを報告し、次年度からは本格的な消費拡大対策の実施に向け、生産者抛出も検討していることを説明しました。

後半の技術情報では「2019年のてん菜病害防除」として、道総研中央農試病害虫予察診断グループの山名利一主査が、主な病害に対する防除のポイントを説明し、従来は「てん菜西部萎黄病」と呼ばれていた病害について、ホクレン農総研の調査でウイルスが異なることが判明し「てん菜黄化病」に病名が変更されたことなどを報告。また、北農研センター生産環境研究領域寒地気候変動グループの廣田知良グループ長が、近年の気候変動を踏まえたてん菜栽培への影響などを紹介して終了しました。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。

この取り組みは、自立支援活動として、JAグループ北海道と興正こども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から巣立った後も栄養バランスを考えた食生活を送ってもらい、健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10名が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。



JA北海道信連

JAバンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通じて子供達に夢や希望を持ってもらうことを目的に、「ファイターズ・ドリームシート」に協賛し、今シーズンは福祉団体を通じて1,200名余りの子供達を招待しました。

「初めて野球の試合を見て楽しかったです。」「声がかかるほど応援しました。」等の感想をいただき、多くの子供達に楽しんでいただきました。



ホクレン



JAとホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す農福連携研修会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開きました。大学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・JAの他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループディスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。



JA共済連北海道

JA共済では、「こども共済」資料請求キャンペーンを実施しております。Webで「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『JA共済オリジナルアンパンマンお食事エプロン』をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日（水）までで、先着60,000名様となっております。

この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

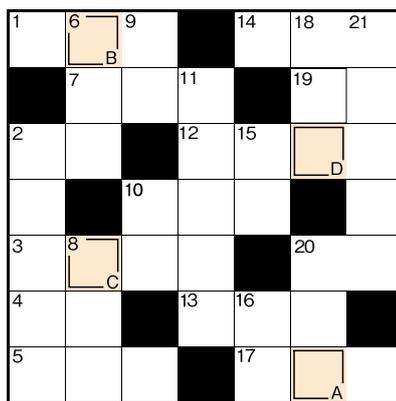
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Dの順に並べ
 できる言葉は何でしょうか?

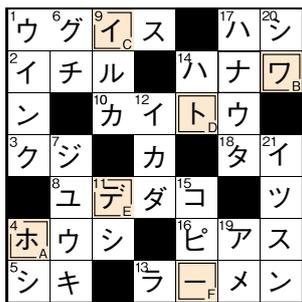


ヒントのカギ

- ①春の山菜の一つ。スギナの胞子茎です
- ②和・……中の料理が味わえるレストラン
- ③絵の具を混ぜ合わせるときに使う板
- ④開店祝いに胡蝶(こちょう)を贈った
- ⑤水が湧き出てくる所
- ⑦奈良県の桜の名所
- ⑩あまり飾り気がありません
- ⑫北海道で生まれた馬や人をこゝう呼びます
- ⑬火のない所に……は立たぬ
- ⑭米寿は数え88歳のお祝い、……は77歳のお祝い
- ⑰「ー」は感嘆符、「?」は……符
- ⑱はさみを振りつつ横歩き
- ⑳一、十、百、千、……

タテのカギ

- ②お酒にのまれている人
- ⑥先祖の冥福を祈り、追善……を行った
- ⑧眼鏡のフレームにはめます
- ⑨両手と両足のこと
- ⑩彼は質問に……なく答えた
- ⑪首の前部にある出っ張り
- ⑮牧場の周りによく立てられています
- ⑯踏むことでよく育つ穀物
- ⑰楽しいとすぐに過ぎてしまいます
- ⑳阿寒湖の物は特別天然記念物
- ㉑一角獣とも呼ばれる想像上の生き物



☆先月号のこたえは『ホワイトデー』でした

こたえ・当選者

- ☆当選者は
- 太田 千子さん
 - 遠藤 洋子さん
 - 角田 昭子さん
 - 保田 美里さん
 - 井川 公子さん

以上の5名です。おめでとうございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見ご感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

●ハガキ

注! ハガキは62円です

うら

- ①クイズの答え
- ②今月号の良かった内容
- ③取り上げて欲しい内容
- ④その他ご意見ご感想など
- ⑤住所氏名年齢電話番号

おもて

62

〒071-0298
 美瑛町
 中町2丁目6-32
 JAびえい「丘の大地」
 クイズ係

●FAX 0166-92-2977

●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

3月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)
 【全体運】珍しく優柔不断になりやすい月。1人で悩まず、信頼できる人に相談を。半身浴や足裏マッサージが幸運
 【健康運】平穏。ただし、食べ過ぎは体重増の原因に
 【幸運を呼ぶ食べ物】 オレンジ

おうし座 (4/20~5/20)
 【全体運】グンと視野を広げられそう。興味のあるセミナーを受けたり、体験教室に参加したりすると、新発見があるかも
 【健康運】運動を習慣化することで、良い変化あり
 【幸運を呼ぶ食べ物】 アオヤギ

ふたご座 (5/21~6/21)
 【全体運】ストレスを感じやすい時期です。背伸びをせず、着実な一歩を重ねていくのが◎。気晴らしには陶芸がお勧め
 【健康運】睡眠が不足気味。質を高める努力が大事
 【幸運を呼ぶ食べ物】 クレソン

かに座 (6/22~7/22)
 【全体運】運が味方してくれる好調期。やりたいことがあるなら、あれこれ考えず、思い切って飛び込んで。海外にもつき
 【健康運】上々。整体などで体のバランスを整えて
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ワケギ

しし座 (7/23~8/22)
 【全体運】思い込みが失敗を招く原因になりがち。柔軟な発想を心掛けて。リラクセスするには好きな香りの入浴剤が最適
 【健康運】ゆったり構えて過ごすのが健康の秘訣に
 【幸運を呼ぶ食べ物】 シイタケ

おとめ座 (8/23~9/22)
 【全体運】小さなミスを連発しやすい。慣れている作業でも確認を忘れずに。周囲のアドバイスには謙虚に耳を傾けて
 【健康運】運動することで、より健康に近づけます
 【幸運を呼ぶ食べ物】 パセリ

てんびん座 (9/23~10/23)
 【全体運】気持ちが不安定になる気配。身の回りを片付けると気持ちが落ち着くので、試してみてください。念入りの掃除も効果大
 【健康運】体力過信はNG。定期的に休息をとって
 【幸運を呼ぶ食べ物】 タイ

さそり座 (10/24~11/22)
 【全体運】前向きな気持ちになれます。ためらっていたことにも積極的に取り組めば、好変化が。自己アピールも成功の兆し
 【健康運】体をいたわって。無理なダイエットは×
 【幸運を呼ぶ食べ物】 スワイガニ

いて座 (11/23~12/21)
 【全体運】感情的になりやすい期間。特に家族など、身近な人に口うるさくしないよう。冷静に。開運には手料理を作って
 【健康運】健康を気にし過ぎ。気楽に考えましょう
 【幸運を呼ぶ食べ物】 セリ

やぎ座 (12/22~1/19)
 【全体運】人との交流からうれしい刺激をもらえる予感。普段付き合う機会が少ない相手ほど、斬新な驚きを与えてくれそう
 【健康運】運動するのに良い月。何か目標を立てて
 【幸運を呼ぶ食べ物】 カブ

みずがめ座 (1/20~2/18)
 【全体運】何事も急がず、マイペースにやることで、物事がスムーズに運ぶはず。結果より、充実感を優先するとグッド
 【健康運】胃腸に優しい食事にする運気好転へ
 【幸運を呼ぶ食べ物】 シラス

うお座 (2/19~3/20)
 【全体運】自信が芽生える星回り。さまざまな分野に挑戦したくなるので、動いてみて。意見やアイデアの発表も正解
 【健康運】話題の健康法に注目を。体質に合いそう
 【幸運を呼ぶ食べ物】 ワカメ



シェフ永井のおすすめ



ちぐさ「千草焼き」

作り方

- (1)マスに薄塩を振り1時間置き、サラダ油をひいたフライパンで両面を焼いておく。
- (2)(1)のフライパンに細切り野菜を全て入れサッと炒め、軽く塩・こしょうを振り、ポウルに入れ、西京みそとマヨネーズである。
- (3)マスに(2)を載せ 180 度のオーブンで 8 ~ 10 分ほど焼き、器に盛り付け、ゆでたナバナ・ビーツの葉(材料外)など彩りをお好みで添える。

材料(4人分)

マス(サーモンでも可)	60g × 4
長ネギ	1本
ニンジン(小)	1/2本
パプリカ	1個
シメジ	1パック
西京みそ	大さじ1と1/2
マヨネーズ	大さじ1
塩・こしょう	適宜
サラダ油	適宜

※野菜は全て細切り

永井 智一(ながい ともかず)
 茨城県笠間市にある「キッチン頭人(ハレジン)」オーナーシェフ



あたらしいチーズケーキ はじめて出会う味、配合、素材使い

中川たま・長田佳子・田中博子・
 吉野陽美・今井ようこ・鶴見昂 著
 ■ 1,620 円(税込)

定番人気のお菓子・チーズケーキを、人気のお菓子研究家やパティシエたちがそれぞれの味や配合で見事にアレンジ。個性あふれるレシピの競演。スパイス系や乳製品不使用のものなど、あたらしい世界が広がる。



決定版 和の薬膳食材手帖

武 鈴子 著
 ■ 1,404 円(税込)

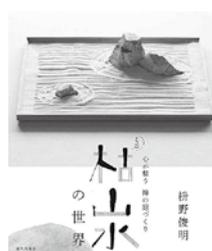
きんぴらごぼうや塩むすびなど普段食べている和食が実は立派な薬膳料理。本書では180種の食材と効能・効果をわかりやすく解説。体質に合わせた食べ方や調理のコツ、他素材との効果的な組み合わせも紹介。



ミニ枯山水の世界 心が整う禅の庭づくり

枘野俊明 著
 ■ 1,836 円(税込)

部屋の中で作れる手軽な『ミニ枯山水』。禅の思考法などのベストセラーを多数執筆し庭園デザイナーでもある建功寺住職の著者が、作り方と作法、楽しみ方を詳しく解説。枯山水を作ることによって心が整い癒される。



アルーダJAびえい

「売りたい遊休農機」「買いたい中古農機」 ありませんか？

中古農機常設展示場『アルーダJAびえい』では、2019年のオープンフェアを4月3日(水)に開催いたします。

オープンに向けて皆様の「売りたい中古農機」「買いたい中古農機」の情報を収集し、より一層の流通促進を図りたくご協力お願い致します。

なお、お申込は、別紙折込の申込書でも受付致しておりますのでFAXでお申し込み下さい。

詳しくは研修センターまでお問い合わせ下さい。

研修センター

窓口 ☎ 92-0588 FAX 92-3914

アルーダ出品の 新ルールが始まります

- ① 機械は出品前に動作状況の確認をしてください
- ② 欠品・破損等は必ず申告をお願い致します
- ③ 出品機に重大な欠陥があった場合は出品者の負担となる事があります
- ④ 洗浄されていない機械につきましては出品をお断りしております
- ⑤ 建機・リフトの出品には、売買成立後に、一般社団法人日本建設機械工業会統一譲渡証明書が必要となります。出品前にご確認願います
- ⑥ 出品をされる場合必ず事前にアルーダ担当までご連絡をお願い致します
- ⑦ 出品期間は3月下旬から11月上旬までになります(冬物商品は11月上旬から3月中旬までになります)
- ⑧ 廃棄処理される場合処分料がかかる場合があります

搬入・搬出について

平日9:00～16:00までご来場をお願いしております
土日祭日は休業です、ご協力を宜しくお願い致します。

窓口 研修センター ☎ 92-0588

JA Biei Information



農機協

家族みんなで取り組もう 農作業安全！！

平成30年度 農作業事故発生状況
(農業労災対象申請分)

平成30年2月1日～平成31年1月31日(1年間)

◎農作業事故件数 23件(特別加入13件、出面10件)前年16件(特別加入12件、出面4件)

上記事故件数の内

入院4件(特別加入2件、出面2件)

前年 入院5件(特別加入4件、出面1件)

◎事故発生状況 挟む・巻き込み3件、強打1件
転落7件、その他1件、
家畜による事故4件

窓口 研修センター ☎ 92-0588

第64回 地区懇談会日程表について 平成31年3月11日(月)・13日(水)

日	3月11日(月) AM9時～12時		3月11日(月) PM1時30分～4時30分(一部夜開催)		3月13日(水) AM9時～12時	
	集落または農事組合名	開催場所	集落または農事組合名	開催場所	集落または農事組合名	開催場所
1班	水沢平誠会A、 水沢平誠会B	水沢 行政区会館	PM6:00～ 北瑛農事組合	北瑛 行政区会館	大村農成会	大村会館
2班	瑠辺籾第4、共和、第1 瑠辺籾第2、第3、平和、 北斗、栄進	ルベシベ 集落センター	PM6:00～ 新星A班、新星B班、 新星C班、新星D班	新星農政推進 センター	福富・三愛農事組合	三愛 行政区会館
3班	上精美、下精美、 置杵牛中央、置杵牛協英	置杵牛 行政区会館	PM6:00～ 旭農事組合	旭いこいの家	新向会	新区画 行政区会館
4班	下宇莫別農事組合 明治町内会	下宇寿の家	二股町内会	二股総合会館	美馬牛第2、旭新町内会、 美馬牛第1、美馬牛大成	美馬牛 転作組合 研修施設
5班	俵真布町内会	俵真布 行政区会館	朗根内農事組合	朗根内寿の家	横牛農事組合	横牛 第2会館
6班	藤野第1、藤野東和、 藤野協成	藤野 行政区会館	赤羽、中宇農事組合、 上宇莫別町内会	旧宇莫別 小学校	原野農事組合、原野5線	原野会館
7班	美瑛共和、美沢共生、 美沢共立、美沢希望、 美沢新生、美沢早崎、 美沢美生、美沢川向集落会	美沢 行政区会館	美田町内会、美田・夕張	美田 稲転研修所	五稜農友会1班・2班、 五稜第1	五稜会館

窓口 営農部 ☎68-7014

共済(保険)の無料保障点検実施中

現在ご加入の保障内容をご存知ですか？

特にこんな“タイプ”はすぐにご相談ください。

10年ごとに掛金(保険料)が上がる更新型タイプ…

「更新後、いったいいくらになるの？」

「払込総額はいくらになるの？」

いちから知りタイプ…

「私の共済(保険)、なんだっけ？」

「掛金(保険料)が高すぎる気がするけど？」



現在ご加入されている共済(保険)の内容がわかる証書(証券)等をご準備のうえ、ご連絡ください。

窓口 共済課 ☎68-7017

理事会のほうこく

第10回理事会 1月31日(木)

- 議案審議事項
 議案第1号 平成31年度運営方針及び部門別方針(案)について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第2号 信用事業における振込手数料の追加設定について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第3号 平成31年度販売・購買手数料率の設定について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第4号 平成31年度経営定期点検実施計画書の策定について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第5号 平成31年度JA内部監査に係る年間計画書の策定について
 ・原案どおり承認されました。

- 協議事項
 ①平成31年度振興対策組合員の解除及び通知について
 ②第64回地区懇談会の開催要領について
 ③退職職員に対する退職功労金・弔慰料・慰籍料について

第11回理事会 2月15日(金)

- 議案審議事項
 議案第1号 行政庁検査に係る指摘事項改善、対応状況報告について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第2号 平成30年度決算に係る監事会・全国監査機構提出の決算関係書類原案の承認について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第3号 平成31年度事業計画について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第4号 リスク管理債権に係る対応方針について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第5号 信用事業における利益相反取引について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第6号 規程類の一部変更について
 ・原案どおり承認されました。
 議案第7号 出資の減口について
 ・原案どおり承認されました。
 ■協議事項 ①規程類の全面改訂について

おめでとう！優良賞

村上 雅紀さん 出品牛、全道上位に



系統ホクレンが実施する枝肉勉強会で村上雅紀さん(間宮) 所有の出品牛「美津延」が優良賞に輝きました。この勉強会は配合飼料を製造販売するホクレンくみあい飼料が帯広市で、黒毛和種の枝肉審査を行うものです。数えて2回目の今年は全道14JAから雌牛11頭、去勢牛16頭の合計27頭が審査されました。出品



牛全体の審査講評では「去勢牛は格付けが良好、骨量に富んでいる。雌牛は脂肪付着の厚いものが見られた」と話していました。村上牧場では、「白樺和牛」と称した牛肉のブランド化も図っており、高品質な肉質が評価されています。

協同のちから



- ◇貯金高 265億42百万円 ◇組合員数 正組合員 730人
 ◇貸付高 78億07百万円 准組合員1,899人
 ◇出資金 11億22百万円 ※百万円未満四捨五入
 ◇固定資産 44億09百万円 (平成31年1月末)

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(2月20日現在)

発生件数	1件(0件)	《0件》
負傷	1人(0人)	《0人》
死亡	0人(0人)	《0人》

()は31年度累計 《 》は昨年同期累計
 ※負傷者数は農業労災加入者統計より

こよみ

3月の主な行事予定

5日(火)	タスマニア州政府との調印式
8日(金)	百合根生産部会定期総会
11日(月)	第64回地区懇談会(13日)
12日(火)	JAグループ国産農畜産物商談会
18日(月)	上田敏光氏宇都宮賞受賞祝賀会
19日(火)	新農業人研修修了証書授与式

編集後記

■2月半ばからハウスのビニールがけに共同作業で汗を流す生産者、農業所得税の申告作業など営農の準備に余念がない。いよいよ本格的な作業が始まる。今年は北極付近の寒気がシベリア付近にたまり、これが塊になって放出されて北海道に覆いかぶさり日中でも零下の気温が続いた。春先によく耳にする言葉が「三寒四温」で北国に住む者にとって厳しい冬に別れを告げる時期の到来に、安堵の心で満たされる。もう関西付近から花便りとともに桜の開花の知らせも届く。いつもより一月も早い開花が報じられる地域もあるが、単なる「狂い咲き」程度の異変であってこればいいと思う。気候に「異常は必要でない、平穏であればいいと思う」■先日の新聞報道で外国人労働者の活躍を期待する分野を7自治体に尋ねたところ農林漁業が65%との記事が紹介されていた。労働者確保も先決の問題であるが、1次産業の発展に不可欠なのは、担い手の育成と次代を背負う若者の育成である。国や道などの行政は覚悟を持って取り組む政策的な課題ではないだろうか。

平成31年3月1日(毎月1回発行) 昭和45年3月5日第3種郵便物認可 毎月1日発行
 美瑛町農業協同組合 TEL 0166-92-2111(代) 発行人/熊谷留夫 編集人/総務部 印刷所/菊野印刷
 〒071-0298 北海道上川郡美瑛町中町2丁目6番32号 (この購読料30円は賦課金の中で徴収しています)